

## 【檜葉町】 小学校及び中学校に係るDX計画

文部科学省が定める「GIGAスクール構想の実現」へ向け、檜葉町では代表的な下記の取組の他、文部科学省が定める「GIGAスクール構想の下での校務チェックリスト」及び福島県教育委員会が定める「教職員働き方改革アクションプラン」等を踏まえ、継続して校務のDXに向けた取組の改善等を行う。

### 記

#### 1. 校務支援システム「内田洋行」を取り入れた校務の円滑化に向けた取組み

小学校及び中学校の教職員が校務をスムーズに行えるよう、檜葉町においては学校に勤務する教職員が校務を円滑に実施できるよう、令和4年度より校務支援システム「内田洋行」を導入している。現状、教職員より児童生徒の事務的管理等を円滑に行えている。

#### 2. 教育委員会におけるDX計画への現状と課題

文部科学省が実施した「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト(学校設置者向け／学校向け)」による自己点検の結果等を踏まえ、課題及び解決策を下記の通り記す。

##### ① 教育委員会主催の研修について

教育委員会内部打合せには紙による発出文書を削減し端末による資料の確認等を行っている。また、他企業との会議等はオンラインを用いて実施している反面、資料等は紙媒体の配布を行っているため、今後、クラウドサービスを使用した資料提供やアンケート実施等発出文書削減の事務処理に向けての本格化を目指す。

##### ② 教育委員会の事務処理等について

・学校及び教職員への通知等は、メールを用いて実施している。  
・学校及び教職員が仕様している校務支援システムや児童生徒が活用している学習アプリ等の共有を指導主事にも活用してもらうことにより、実際の状況やアプリへの要望等が把握できるため、福島県教育委員会が定める「教職員働き方改革アクションプラン」を基に、今後、指導主事へのGIGA端末の支給及び学校同様のクラウド環境の整備も検討する。

##### ③ 校務支援システムについて

檜葉町では、教職員用に校務支援システムを導入し校務及び事務処理等の円滑化を図っている。今後は、福島県が推奨する汎用クラウドプラットフォームFCS(ふくしまクラウドサービス\*)を導入し、学校経営や学習指導、教育政策の高度化を目指す。  
(※)FCSは、福島県が県域でドメイン運用するGoogle Workspace(汎用クラウドプラットフォーム)である。

##### ④ 文書規定管理等の制定及びDX計画に係る策定について

教育委員会及び学校や教職員のGIGAスクール構想の実現に向け情報収集を進め、檜葉町が定める教育にかかわる公文書のデジタル化に関する規定や、教育情報セキュリティポリシーを策定し、安心安全で円滑な教育DXの実現を目指す。